

明第1地区

根本、小根本、岩瀬、旭ヶ丘、相模台、胡録台、緑ヶ丘、野菊野団地、みなづき、松戸新田、仲井町、稔台、吉井町、八柱自治会、寒風台、京流

明るい福祉

明第1地区社会福祉協議会

第75号

令和6年11月15日
発行・編集 広報部会
松戸市上本郷3018-1
明市民センター内
電話 368-0517

明第1地区社会福祉協議会では、多世代の方々の交流の場の創出を目指して第一回『ふれあい広場』を開催します。幅広い年代の皆様が楽しんでいただける企画が満載です。予約不要でどなたでも参加できます。ぜひお越しください。

明第1地区内では今年度43組のご夫婦が結婚50年をお迎えになりました。そこで昨年に引き続き、明第1地区社会福祉協議会事務所にて記念撮影会を実施、13組のご夫婦がおいでになりました。うち3組の方にインタビューに応じていきました。

いずれも様々な人生を2人で乗り越えてこられた自負と感激を口にし、幸せオーラを發しておられました。

- ・主人は何度も大きな手術を乗り越えてきた
- ・でも、休みには日本全国、車で旅行に連れて行ってくれて感謝
- ・千枝子さん
- ・この50年を振り返って
- ・小林穂・千枝子ご夫妻
- ・技術者として釜石製鉄所、リニアモーターカー等の現場を担当するなど家を離れている期間が長かった
- ・その間、家を守ってくれてご苦労様

明第1地区社会福祉協議会
電話・FAX 047-368-0517
会場 明市民センター2階全室
参加費 無料
問合せ 明第1地区社会福祉協議会
日時 令和7年2月2日(日)
10時～15時

明第1地区社会福祉協議会では、多世代の方々の交流の場の創出を目指して第一回『ふれあい広場』を開催します。幅広い年代の皆様が楽しんでいただける企画が満載です。予約不要でどなたでも参加できます。ぜひお越しください。

（夫に対しても、今後の希望）

和子さん

（永く夫婦を続ける工夫は）

飯島進・孝子ご夫妻

（お互いの思いやりが一番）

孝子さん

（親も金婚式を迎えたので私たちも続いて金婚式を迎える）

は誇らしい

第一回『ふれあい広場』 2月2日開催決定!!

明第1地区社会福祉協議会
50周年を迎えての感想
幹彦さん

- ・忍耐一筋だった（笑）
- ・よくやつてくれたの一言に尽きる
- ・おいしい料理を作ってくれることにも感謝
- ・夫に対しても、今後の希望
- ・これからも夫婦で畠作りを続けたい
- ・ともかく健康第一
- ・これからも夫婦で畠作りを続けたい

地域で支える福祉の推進



松山さんご夫婦



飯島さんご夫婦



小林さんご夫婦



10月26日(土)稔台小学校にて、第24回明第一地区市民運動会が開催され、地区会員、スポーツ推進員、市・地区社協事務局を含め市民約200名が参加しました。当日はすきとした青空ではないものの、心配された雨も降らずボーラー送り・スプレンリレー・玉入れ・50m走、そして大人気のパン食い競争に歓声が沸き、小さな子どもからお年寄りまで秋の运动会を楽しみました。5競技が終わった後は恒例のグラウンドゴルフ大会に18チームが参加し熱戦を展開しました。

明第一地区
市民運動会開催

わが町会・自治会の防犯の取り組み

相模台町会の日々の活動

町会長 木下茂太郎

戦国時代には城があり、古戦場となつたわが相模台町会は、現在、松戸中央公園や聖徳大学、松戸市立第一中学校、相模台小学校や法務局、地方裁判所等を有している280世帯の町会です。

これまでの防犯・防災の活動を報告します。

・防犯セミナー2回開催 (松戸警察署より講師を招待)

- ・月末土曜日、有志10名による巡回パトロール
- ・ハロウイン祭りの交通整備、及び地域巡回防犯活動
- ・年末3日間有志20名による火の用心・松戸消防署による防災訓練
(於:相模台小学校)
- ・西部防災センターでの防災訓練
(8回実施)
- ・防災行動セミナーの開催

また、毎月行う班長会では、各家庭での「消火器設置」「災害時の備蓄」等を呼びかけ、回覧板等でも周知し、お願いしております。

さらに、昨今激甚化する自然灾害によって、予想される避難所生活に対する「避難所運営の円滑化」のため、町会独自で名簿を作成。事前に各家庭に書面を配布し、項目を記入していただきことで、受付時の混乱解消、また同時に安否掌握にも繋がると考えています。

相模台町会の合言葉

- ①「ありがとうございます」の感謝の心
- ②いつも素直な心
- ③「はい」という優しい心
- ④「すみません」の反省の心
- ⑤「おかげさまで」の謙虚な心
- ⑥「させていただきます」との奉仕の心

この合言葉を大切に、これからも多くの方々と力を合わせ、愛する地域を守り、発展させてまいりたいと思います。

車いす学習は今年度2度目であり、前回は車いすの補助の視点での学習でしたが、今回は車いすを利用する当事者の立場での体験でした。ちよつとした段差でもなかなか思うようにいかず、ひっくり返りそうになつたり、汗びっしょりの体験でした。

白杖について私にとつては初めての体験でありました。何も見えないなかで白杖を頼りにして一歩一歩前に進んでいく、隣に誘導者がいるにせよとても足元が不安で、まつすぐ歩けているのか、どの位歩いたのか、ただただアスファルトをたたく音だけが耳に響いていました。

改めて目の不自由な方にとって、白杖は外出時の身の安心・安全を守る欠かす事の出来ない分身であることを学びました。

私は今まで気にとめることもありませんでしたが、今後街中や駅中で白杖を持った方を見受けたら、通り道を邪魔しない・障害物を見つけたら横にどかしてあげるとか、また何か困っているような方を見

受けたら『何とか手伝いしましょか?』と声をかけられるようになれば良いと思うよ

ボランティア部会 長谷川栄一
車いす・白杖体験学習について

9月10日(火) 私たちは五香西にあ

る「国土交通省建設技術展示館」を訪問し、車いす・白杖の体験学習をしてきました。



また、ひとの往来の多い道路では点字ブロックなどが整備されることは重要ではあります。



各種使用済み品

不要入れ歯・書き損じハガキ・使用済切手を集めています。

※入れ歯は熱湯洗浄後チャック付きビニール袋に入れ、市役所・市及び各地区社協に設置してある回収箱に入れて下さい。

《問い合わせ》
明第1地区社会福祉協議会
☎ 047(368)0517



あとがき



長い暑い夏の日々。

いつ終わるのかと思っていたら、9月「暑さ寒さも彼岸まで」というよう23日過ぎに突然の寒さ?

これでようやく秋に:と思つていたら、また?と。

長期予報によると、10月は平年より高め、11月12月は平年並みということです。

この新聞が出るころは落ち着いているでしようか。

みなさん体調に気を付けて乗り切りましょうね。

